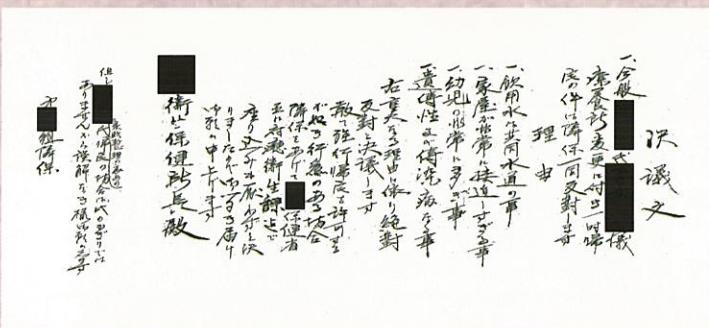


昭和15（1940）年頃、収容する患者をムシロ敷きのトラックに乗せる（国立療養所菊池恵楓園入所者自治会提供）

「無らうい県運動」とは

国・地方公共団体・市民それぞれが
果たしてきた役割と責任を考えよう



- 一、飲用水が共同水道であること
- 一、家屋がひじょうに接近しそぎること
- 一、幼児がひじょうに多いこと
- 一、遺伝性及び伝染病なること

上記の重大なる理由により、療養所からの一時帰宅は絶対反対。あえて強行帰宅を許可する場合、隣保をあげて保健所並びに府衛生課で座り込みもいとわない等、昭和25（1950）年頃、町会から保健所に寄せられた療養所からの一時帰省を拒否する「決議文」（『大阪府ハンセン病実態調査報告書』より）

平成26（2014）年 2月15日（土）13：30～16：30（13時開場）

手話通訳・要約筆記あり（※点字資料が必要な方は事前にお申し込みください）

会場 大阪市立阿倍野区民センター 2階 大ホール（大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118 地図は裏面）

主催 ハンセン病問題講演会実行委員会

共催 大阪府 大阪市 堺市

資料代 500円

【シンポジウム】

〈シンポジスト〉

◆日野 千栄子（国立療養所長島愛生園入所者）

◆外島 一郎

（仮名：ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会副会長）

◆宮前 千雅子

（関西大学人権問題研究室委嘱研究員／虹の会おおさか会員）

◆和泉 真藏

（アイルランガ大学客員教授／熱帯病研究所ハンセン病研究室担当／ハンセン病専門医）

〈コーディネーター〉

◆藤野 豊

（敬和大学人文学部教授）

【ドランカーズ ミニライブ】

平成元（1989）年結成。尼崎市、川西市、宝塚市で働く音楽好きの仲間で構成。メンバーの年齢や性別、音楽の好みも違うが、一人ひとりを尊重し、「一人がみんなのために、みんなは一人のために」を心がけて音楽を楽しんでいる。バンド名「ドランカーズ」は、「のんべい」を横文字にしたもので、練習後やイベントが終わった後には常に“一杯”がつきまとうのこと。

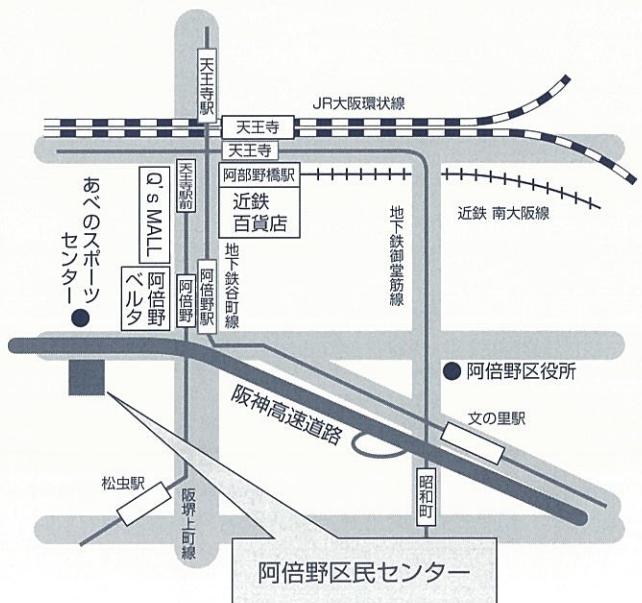
実は、バンドリーダーがハンセン病の親をもつ家族として昨年度この講演会でシンポジストとして登壇。バンドメンバーにも初めて自分自身を打ち明け、今回は音楽でハンセン病問題とは何かを表現したいと思っている。

開催にあたって

明治40（1907）年から平成8（1996）年まで続いたハンセン病に対して行われた強制隔離政策は、ハンセン病への脅威をかきたて、市民がハンセン病を疑う人を発見したら、警察や保健所に通報（投書）する仕組みを作り上げました。戦前、戦後と展開された「無らい県運動」は、自分たちの街や村からハンセン病・ハンセン病患者を一掃しようとする、官民一体となつた運動でした。

「無らい県運動」がハンセン病患者、ハンセン病回復者、家族、遺族にもたらした被害は計り知れないほど甚大です。法律に基づいて行ってきたことだから、「あの時代はしかたなかった」とか、ハンセン病の薬がなかった時代は「隔離はしかたなかった」という人もいます。しかし、「無らい県運動」がどんな歴史的な背景の中で行われてきたのか、国・地方公共団体・市民の果たしてきた役割を考えたとき、その責任と反省を今一度再確認することが必要であると考えます。それが、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」第18条の「ハンセン病の患者であった者等の名誉の回復を図る」ことになるのです。

さらなる被害を作りださないために、今、「無らい県運動とは何だったのか」を問い合わせることの意義は大きく、ハンセン病問題で犯した過ちを二度と繰り返さないために私たちにできることを共に考える機会にしたいと考えます。



交通のご案内

- ・地下鉄谷町線「阿倍野」下車 6番出口西へ 100m
 - ・阪堺電鉄上町線「阿倍野」下車西へ 約 100m

※阿倍野区民センターには駐車場がありませんので、
公共交通機関をご利用ください。

ハンセン病は、かつて「らい」あるいは「らい病」と呼ばれていましたが、「らい予防法」が廃止された平成8（1996）年に、それまで付加され続けてきた悪いイメージを解消するため、「ハンセン病」と呼称変更が行われました。

主 催 ハンセン病問題講演会実行委員会：大阪府人権協会、ヒューマンライツ福祉協会、福祉運動・みどりの風、虹の会おおさか、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、真宗大谷派解放運動推進本部、大阪社会福祉士会、ハンセン病国賠訴訟瀬戸内弁護団、ハンセン病回復者とともに歩む関西連絡会、大阪府人権福祉施設連絡協議会、ハンセン病問題を考えるネットワーク泉北、ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会、大阪府精神障害者家族会連合会、大阪精神科病院協会、恩賜財団大阪府済生会、石神紀念医学研究所、大阪府市町村社会福祉協議会連合会、大阪障害者自立支援協会、大阪府地域福祉推進財団、堺市社会福祉協議会、大阪府吉田会、大阪府町村長会、大阪府社会福祉施設・機関活動推進協議会（順不同）

共 催 大阪府 大阪市 堺市

後援 児童発育・大阪府・都市・界市
全国ハンセン病療養所入所者協議会、大阪府病院協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪府医師会、大阪府民生委員会、児童委員協議会、大阪市民生委員児童委員連盟、ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会、大阪精神障害者連絡会、障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議、DPI日本会議、大阪精神科診療所協会、長島愛生園入所者自治会、邑久光明園入所者自治会、大島青松園入所者自治会、大阪府保険医協会、堺市民生委員児童委員連合会、大阪府私立病院協会、大阪介護老人保健施設協会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会、大阪府看護協会、全医労近畿地方協議会、つばめ会、能勢町、豊能町、池田市、箕面市、豊中市、茨木市、高槻市、島本町、吹田市、摂津市、枚方市、交野市、寝屋川市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、富田林市、大阪狭山市、河内長野市、松原市（順不同）

問い合わせ)

合わせ

「ハンセン病問題講演会実行委員会」事務局

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15

1942.0012 大阪市
大阪府社会福祉会館 3 階

大阪府社会福祉士会館 3階
社会福祉法人 恩賜 済生会支部 大阪府済生会

社会福祉法人財団厚生年金支那部大阪府厚生年金
ハンセン病回復者支援センター 担当・加藤 原田 寿山

TEL : 06-7506-8131

TEL : 06-7506-9424
FAX : 06-7506-8435

E-mail : abhan-center@ccckka-ac.jp

